

2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2024年4月12日

上場会社名 株式会社サイエンスアーツ 上場取引所 東
コード番号 4412 URL https://www.buddycom.net
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 平岡 秀一
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 松田 拓也（TEL）03(6825)0619
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年8月期第2四半期の業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	559	72.1	△15	—	△16	—	△16	—
2023年8月期第2四半期	325	40.8	△30	—	△31	—	△35	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年8月期第2四半期	△2.44		—					
2023年8月期第2四半期	△5.48		—					

- （注）1. 2023年8月期第2四半期及び2024年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。
2. 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	956	492	51.5
2023年8月期	894	508	56.9

（参考）自己資本 2024年8月期第2四半期 492百万円 2023年8月期 508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,003	30.1	△201	—	△203	—	△204	—	△31.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年8月期2Q	6,716,400株	2023年8月期	6,716,400株
2024年8月期2Q	132,800株	2023年8月期	132,800株
2024年8月期2Q	6,583,600株	2023年8月期2Q	6,570,420株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことに伴い、経済活動及び社会活動の正常化が一段と進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界各国の金融政策の影響等による為替相場の変動や、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源価格や燃料価格の高騰、能登半島地震の発生など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が事業展開する国内のソフトウェア市場におきましては、働き方改革や人手不足の解消などの課題解決に向けコミュニケーションの促進や業務の自動化・効率化につながるソフトウェアの導入が進み、2023年度は前年度比11.0%増の2兆1,938億円※1が見込まれております。また、机の前に座らない最前線で活躍するデスクレスワーカーが働く現場においては、法人向けモバイル通信端末市場の拡大、AIや画像認識等の精度向上、ウェアラブルカメラ等ハードウェアの開発と導入コストの低減、5Gの普及による映像等大容量データの活用など、様々な分野のイノベーションの発展に伴い、さらなるDX化の拡大が期待されます。当社の提供するサービス「Buddycom」の国内における潜在市場規模については、約1,400億円と推計※2しております。当社は「世界中の人々を美しくつなげる」ことをミッションに掲げ、「デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム」の新たな市場の創出を図りながら、開発・販売を行ってまいります。

このような経営環境のもと、当社の主力サービスであるBuddycomの開発及び販売に注力いたしました。売上高は順調に推移した一方、Buddycomの開発及び販売強化のための人員増加による人件費及び地代家賃の増加等により、販売費及び一般管理費も増加いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は559,707千円（前年同期比72.1%増）、営業損失は15,437千円（前年同期営業損失30,964千円）、経常損失は16,988千円（前年同期経常損失31,103千円）、四半期純損失は16,031千円（前年同期四半期純損失35,999千円）となりました。

※1 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」（2023年8月）

※2 国内における全ての潜在顧客、デスクレスワーカーに導入された場合の、顧客による年間支出総金額。（日本のデスクレスワーカー人口（2023年5月の総務省統計局「令和4年 労働力調査年報」より当社推計）×ID当たりの平均年間課金額）

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(Buddycom事業)

Buddycom事業におきましては、マーケティング強化による知名度の向上、営業人員の増強、代理店営業力の強化、SMB※1向けの販売強化等により契約社数は増加し、当第2四半期会計期間末の契約社数は913社（前事業年度末758社）となり、ARR※2は638,011千円（前事業年度末557,602千円）となりました。以上の結果、当第2四半期累計期間における、Buddycom利用料売上が301,598千円（前年同期比30.8%増）、アクセサリー売上が255,360千円（前年同期比178.4%増）となり、セグメント売上高は556,959千円（前年同期比72.8%増）、セグメント損失は17,693千円（前年同期セグメント損失33,292千円）となりました。

※1 SMB：Small and Medium-sized Businessの略称。当社では従業員数が500人未満の企業と定義。

※2 ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末月のBuddycom利用料売上を12倍して算出。

(その他)

ALTIBASE事業を「その他」に含めております。ALTIBASE事業については、積極的には展開しない方針であり、当第2四半期累計期間におけるその他の売上高は2,748千円（前年同期比7.1%減）となり、セグメント利益は2,255千円（前年同期比3.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ62,834千円増加し、956,924千円となりました。

これは主に、固定資産の減少(前事業年度末比28,782千円減)はありましたが、現金及び預金の増加(前事業年度末比64,729千円増)、売掛金の増加(前事業年度末比17,010千円増)、前払費用の増加(前事業年度末比9,900千円増)等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債につきましては、前事業年度末に比べ78,866千円増加し、464,542千円となりました。

これは主に、未払金の減少(前事業年度末比47,026千円減)、未払費用の減少(前事業年度末比10,377千円減)、買掛金の減少(前事業年度末比6,408千円減)等はありませんでしたが、売上高が順調に推移したことによる前受収益の増加(前事業年度末比43,631千円増)、1年内返済予定の長期借入金の増加(前事業年度末比53,331千円増)、長期借入金の増加(前事業年度末比46,589千円増)等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産につきましては、前事業年度末に比べ16,031千円減少し、492,382千円となりました。

これは、四半期純損失計上による利益剰余金の減少(前事業年度末比16,031千円減)によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、564,489千円(前事業年度末比64,729千円増)となりました。また、当第2四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動により支出した資金は、8,933千円(前年同期は34,355千円の支出)となりました。

これは主に、前受収益の増加額40,994千円、未払消費税の増加額9,917千円等の収入要因及び、売上債権の増加額17,010千円、未払費用の減少10,377千円、前払費用の増加額9,809千円、未払金の減少額6,775千円、税引前四半期純損失16,988千円等の支出要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により支出した資金は、26,257千円(前年同期は1,398千円の支出)となりました。

これは、敷金の回収による収入26,178千円、有形固定資産の取得による支出44,906千円、資産除去債務の履行による支出7,530千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により得られた資金は、99,920千円(前年同期は14,900千円の収入)となりました。

これは、長期借入による収入109,000千円及び長期借入金の返済による支出9,080千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月14日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	504,759	569,489
売掛金	66,002	83,013
商品	76,743	74,997
貯蔵品	20	12
その他	20,181	31,813
流動資産合計	667,708	759,325
固定資産		
有形固定資産	112,887	110,824
投資その他の資産	113,494	86,774
固定資産合計	226,381	197,599
資産合計	894,090	956,924
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,477	10,069
1年内返済予定の長期借入金	—	53,331
未払法人税等	290	145
前受収益	180,990	224,621
資産除去債務	7,530	—
その他	109,894	62,882
流動負債合計	315,182	351,049
固定負債		
資産除去債務	45,450	45,599
長期借入金	—	46,589
その他	25,043	21,304
固定負債合計	70,493	113,492
負債合計	385,675	464,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,121	52,121
資本剰余金	781,951	781,951
利益剰余金	△321,908	△337,940
自己株式	△3,750	△3,750
株主資本合計	508,414	492,382
純資産合計	508,414	492,382
負債純資産合計	894,090	956,924

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	325,281	559,707
売上原価	103,316	268,702
売上総利益	221,965	291,004
販売費及び一般管理費	252,930	306,442
営業損失(△)	△30,964	△15,437
営業外収益		
受取利息	3	3
補助金収入	—	40
受取褒賞金	90	—
その他	2	6
営業外収益合計	97	49
営業外費用		
支払利息	—	785
為替差損	235	815
その他	—	0
営業外費用合計	235	1,601
経常損失(△)	△31,103	△16,988
特別損失		
投資有価証券評価損	4,999	—
特別損失合計	4,999	—
税引前四半期純損失(△)	△36,103	△16,988
法人税、住民税及び事業税	145	145
法人税等調整額	△248	△1,102
法人税等合計	△103	△957
四半期純損失(△)	△35,999	△16,031

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△36,103	△16,988
減価償却費	2,233	6,718
受取利息及び受取配当金	△3	△3
補助金収入	—	△40
支払利息	—	785
投資有価証券評価損益(△は益)	4,999	—
売上債権の増減額(△は増加)	△7,492	△17,010
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,163	1,754
前払費用の増減額(△は増加)	△8,791	△9,809
仕入債務の増減額(△は減少)	7,105	△6,408
未払金の増減額(△は減少)	△10,699	△6,775
未払費用の増減額(△は減少)	6,099	△10,377
前受収益の増減額(△は減少)	30,114	40,994
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,931	9,917
その他	1,471	△565
小計	△34,160	△7,808
利息及び配当金の受取額	3	3
補助金の受取額	—	40
褒賞金の受取額	90	—
利息の支払額	—	△877
法人税等の支払額	△290	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,355	△8,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,398	△44,906
資産除去債務の履行による支出	—	△7,530
敷金の回収による収入	—	26,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,398	△26,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	109,000
長期借入金の返済による支出	—	△9,080
自己株式の処分による収入	14,900	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,900	99,920
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,854	64,729
現金及び現金同等物の期首残高	658,911	499,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	638,057	564,489

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	322,322	322,322	2,959	325,281	—	325,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	322,322	322,322	2,959	325,281	—	325,281
セグメント利益又は損失(△)	△33,292	△33,292	2,327	△30,964	—	△30,964

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	556,959	556,959	2,748	559,707	—	559,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	556,959	556,959	2,748	559,707	—	559,707
セグメント利益又は損失(△)	△17,693	△17,693	2,255	△15,437	—	△15,437

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	230,593	230,593	—	230,593
アクセサリ売上	91,729	91,729	—	91,729
その他	—	—	2,959	2,959
顧客との契約から生じる収益	322,322	322,322	2,959	325,281
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	322,322	322,322	2,959	325,281

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	301,598	301,598	—	301,598
アクセサリ売上	255,360	255,360	—	255,360
その他	—	—	2,748	2,748
顧客との契約から生じる収益	556,959	556,959	2,748	559,707
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	556,959	556,959	2,748	559,707

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。